



&LIFE ❤

ふだんの暮らしが、すこし暖かくなる

&LIFE 学生委員会

♥ 諸藤 百合子
福岡介護福祉専門学校

♥ 山口 昌斗
福岡介護福祉専門学校

♥ 伊藤 聖二
北九州保育福祉専門学校

♥ 岩隈 弘晃
福岡医療短期大学

♥ 木本 享介
麻生医療福祉専門学校 福岡校

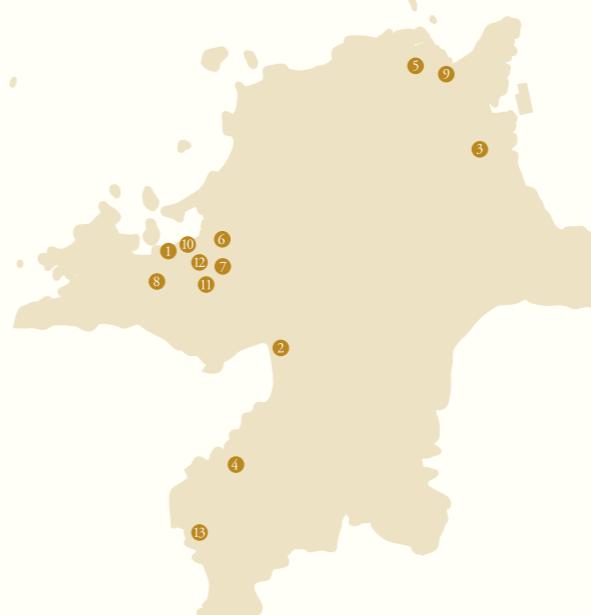
♥ 平城 和也
福岡医療秘書福祉専門学校

♥ 彌永 果歩
西日本短期大学

♥ 豊永 一葉
精華女子短期大学

♥ 白川 愛莉
大原保育医療福祉専門学校

福岡県介護福祉士養成施設 MAP



- (学)伊東文化学園
① 福岡介護福祉専門学校
〒819-0015 福岡市西区愛宕4-2-28
TEL 092-882-7004
- (学)平岡学園
② 平岡介護福祉専門学校
〒838-0197 小郡市大保1434-3
TEL 0942-72-0002
- (学)戸早学園
③ 北九州保育福祉専門学校
〒800-0343 京都郡戸田町上片島1575
TEL 0930-23-3213
- (学)真宗大谷学園
④ 九州大谷短期大学
〒833-0054 筑後市戻数495-1
TEL 0942-53-9900
- (学)麻生塾
⑤ 専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ
〒804-0092 北九州市戸畠区小芝3-3-1
TEL 093-882-0001
- (学)麻生塾
⑥ 麻生医療福祉専門学校 福岡校
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-29
TEL 092-415-2294
- (学)三幸学園
⑦ 福岡医療秘書福祉専門学校
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-16-22
TEL 092-481-3354
- (学)福岡学園
⑧ 福岡医療短期大学
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1
TEL 092-801-0411
- (学)東筑紫短期大学
⑨ 東筑紫短期大学
〒803-8511 北九州市小倉北区下到津5-1-1
TEL 093-561-2136
- (学)西日本短期大学
⑩ 西日本短期大学
〒810-0066 福岡市中央区福浜1-3-1
TEL 092-721-1141
- (学)精華学園
⑪ 精華女子短期大学
〒812-0886 福岡市博多区南八幡町2-12-1
TEL 092-591-6331
- (学)大原学園
⑫ 大原保育医療福祉専門学校
〒812-0026 福岡市博多区上川端町13-19
TEL 092-271-2942
- (学)高木学園
⑬ 大川看護福祉専門学校
〒831-0016 大川市酒見391-5
TEL 0944-88-3433

お問い合わせ

&LIFE 担当校 福岡介護福祉専門学校

TEL : 092-882-7004 / E-mail : f-kaigo@itobunka.ac.jp

[担当] 小笠原

<http://fukuoka-kaigofukushi.ac.jp/andlife/>



「豊かに生きることって なんだろう？」

介護をこころざす学生たちが出会ったのは、
ひとを想い、優しく、穏やかな笑顔をもった先輩たち。

たくさんのモノや情報に満たされる幸せではなく、
ひとへの想いやりでいっぱいに満たされた
「カイゴな生き方」を
先輩たちと学生の会話から見つけていきたいと思います。

相手への想いやりが素直な自分を引き出してくれるー

介護施設では入居者の心身を豊かにするためにレクリエーションの時間があります。朱雀さんはまだ入職して年数が浅いのですが、そのレクリエーションの時間を一人前に任せられているのだそう。入居者ごとの笑いのツボまで押さえているという感心の芸達者ぶりです。学生・伊藤さんは実はレクリエーションが苦手。すると朱雀さんは「最初は人前に出ることでさえ恥ずかしさと戸惑いがありました」。仕事だからと言い聞かせるようにこなしていったとのこと。しかし入居者と触れ合ううちに、本当に喜んでもらうには?と突き詰めるように。結論として「入居者さんに楽しんでもらうためには、まず自分が楽しまなきゃと思いました」。朱雀さんが笑顔になることで、入居者に幸福感と安心感を与える、まさに朱雀さんなりの介護のやり方に気づいたのです。

「ありがとう」の重み

さらに「入居者のお手伝いをして、ありがとうと言われる

素直に人を想うこと

「学生の頃は『いい子』と思われることに恥ずかしさがあった」と照れながら語る朱雀さん。仲間と群れてどこか真面目でない自分を取り繕っていた過去に比べ、入職後は自然とまず相手の立場を考えるようになりました。電車で席を譲ったり、お年寄りの荷物をもつてあげたり…介護の仕事をしていたらほって置けなくなりますよ」。今では友人たちにも介護の仕事を勧めるほどその魅力を感じている様子でした。

「自分でなく周囲の人にも笑顔を与えたい」と無垢に笑みにしている入居者の姿が浮かびました。



朱雀 智洋
介護老人保健施設
サンシャインシティ 勤務



伊藤 聖二
北九州保育福祉専門学校

Talk 3



P4

好きこそもの上手なれ。他人のことも
我がごとに—

Talk 1



P2

相手への想いやりが素直な自分を
引き出してくれるー

Talk 4



P5

相手を想うから、変化が生まれるー

Talk 2



P3

ひと呼吸置いて、相手に寄り添うことの大切さー



ひと呼吸置いて、相手に寄り添うことの大切さ――

現在は障がい者支援施設で
働く岡本さん。学生・豊永

を心がけるようにしました

さんと同じ幼稚保育学科であ
りながら、介護に興味を持つた
のは障がい者施設での実習が
きっかけなのだそう。「入居者
の前で野菜がモチーフのパネル
シアターを披露したことが樂

て施設は家。いかにリラックスして日常を送れるか、「一人ひとりに寄り添っています」。綺麗ごとに、いうわけではなく、当たり前のことをとして話す凜とした姿によく、居者の日常生活を支え生き生き

「しかし、たてて」と実習生時代の思い出を話してくれました。そ

生きと併がれる様子が見いだ
かびます。

きない入居者に絶てはなく食
物の感触を手で体感してほし
いと、グループのメンバーで栗を
拾いに行つたというエピソードは
とても印象深いものでした。学
生の頃から相手を想いやる気
持ちを強く持ち続けていた岡
本さんが、自身に合つていると
介護の仕事を選んだことも納
得できます。

岡本さんの家族に介護が必要になつたときの話をしてくわ
ました。「毎回初めてのよう『ありがとうございます』と喜んでくれ、し
ても嬉しいです」。自分の得た経験・技術が身近な人に感謝さ
れることは、さらなる原動力となつてゐるようでした。

向き合うために

入居者の行動に驚くこともあつたのだそう。しかし、感情的にならず、ひと呼吸置き、何を考えているのか?何を伝えたいのか?と相手の立場になること

そんなとき、岡本さんのように
ひと呼吸置いて、相手を想つて
言動をとるようにならなければ、貢
らしが豊かになるのではないかと
と気づかされました。

始まつてゐるの 三か月 他人のことは我がことは

か?」という学生の質問を「好きな人に何かしてあげることって普通のことじゃない!」と底抜けの笑顔で答える金丸さん。学生時代、介護施設での実習がとても楽しく、介護の仕事をすることに決めたのだそう。人を笑顔にすることでお給料をもらえるなんて素晴らしい仕事と、その魅力と、自身にとって天職であると語ってくれました。

「でもらつていい」と思いながら少しでも入居者が笑ってくわるよういつも体当たりしますよ」と、常に相手を自分のことのように想い、ひたむきに努力することと、やりがいを手してくれました。まっすぐ前から見る金丸さんの姿勢は、ただ楽しいから介護の仕事をやっているわけではなく、強い幸福感を感じることができます。

“ありがとう”的
違いを感じる

自分らしくあることが
できる

援施設では、目や耳が不自由な入居者が多く、言葉などでコミュニケーションが取れないぶん、ボディタッチなど触れ合うことで落ち着く方が多いそうですが。しかし、中には人に触れられるのが好きじゃない入居者もいます。「『ありがとうございます』の言葉ひとつにしても、『本当にありがとうございます』と『もう大丈夫、いらない』の違いがありますからね」と。さらに「私自身、器用な方ではないから、実践を重ねて経験することを大切にして

もありのままの姿でいるようになったと金丸さん。「自分を取り繕うことで相手を嫌な気持ちにさせると思うんです」。仕事でもプライベートでも相手の立場になり、裏表なく金丸さんは楽しく生きていく。そのインターフェーススタイルはとても惹きつけられるものがあります。

金丸 友美
障がい者支援施設 勤務

彌永 果歩
西日本短期大学

平城 和也
福岡医療秘書福補専門学

岩隈 弘晃

あなたが介護の仕事を志す上で 大事にしているもの・こと。

人を想いやることを大切にする介護の仕事。その魅力に惹かれた学生たちが普段、勉強・実習をする中で大切なことについて聞いてみました。



介護を目指す仲間達。みんなで頑張っていこう！(平城)



尊敬するチャレンジファミリー。そこに生きる命があり、それを守る。(岩隈)



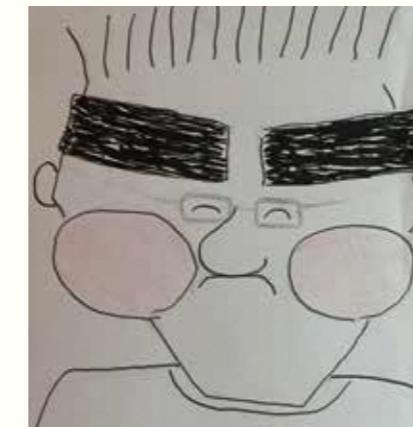
私が介護福祉士を目指すきっかけになった大好きな祖母の背中。(豊永)



医療的ケアという新たな分野を学び介護の可能性、大切さを思い出せます。(伊藤)



介護は時にチームプレーです。誰かかけてしまうとよい良い介護はできません。(諸藤)



実習で行った施設の利用者さんが描いてくれた私の似顔絵です。(木本)



今自分が介護のことを学びその魅力に気付くことが出来たのは2人のおかげです。(山口)



校内の大会に向けて食事介助の練習。日々友と技術面でも知識面でも高めあってます。(白川)



故郷の人たちに「果歩ちゃんが介護してくれるけ俺たちは老後は安心やね。」と言われ励みになりました！(彌永)



酒井さんの経営するダイサービスは床にじゅうたんが敷かれ、素足でも歩きやすく、大きな窓からの暖かい日差し、そよ風が気持ちの良い場所です。少し段を上った場所には畳の間があり、入居者が腰掛け楽しそうにおしゃべりしています。しかし、実はこの開放感はディサービスとしては特異なこと。汚れると大変だから、転んで怪我をすると大変だから……と床はタイルマット、段差のないバリアフリーな環境が一般的です。酒井さんが、この「業界の常識」を覆す新しいサービスを始めるきっかけにならなければ。酒井さんが、この「業界の常識」を覆す新しいサービスを始めたい」という入居者の要望を施設の職員に伝えたところ、「施設の規則で決められた時間まで待つように」と言われ、その当時、施設側の都合ばかり考え、入居者の生活の幅を制限するという介護のやり方にショックを受けたのだそうです。「人が当たり前に生活していること

農業経験のある利用者さんと相談し、できたという施設の外にある畑を案内していました。さらに施設内には他にもカラオケや自転車、遊技機などが揃えられています。どれもじっくり話し合い取り入れていったのだと進むする酒井さん。生きは何か、想いを巡らせ、少しでも疑問に思える部分があれば、自分が変えてみせるそうです。相手の本当の幸運でありました。



木本 享介
麻生医療福祉専門学校



山口 昌斗
福岡介護福祉専門学校



酒井 亮
株式会社やってん堂
代表取締役

相手を想うから、変化が生まれる

常に上昇し続ける想い

を当たり前にできるように支援したいです。利用者の立場になって作られた施設への強い想いを感じられます。